

# Varioscan LUX 利用上の注意

## セッションについて

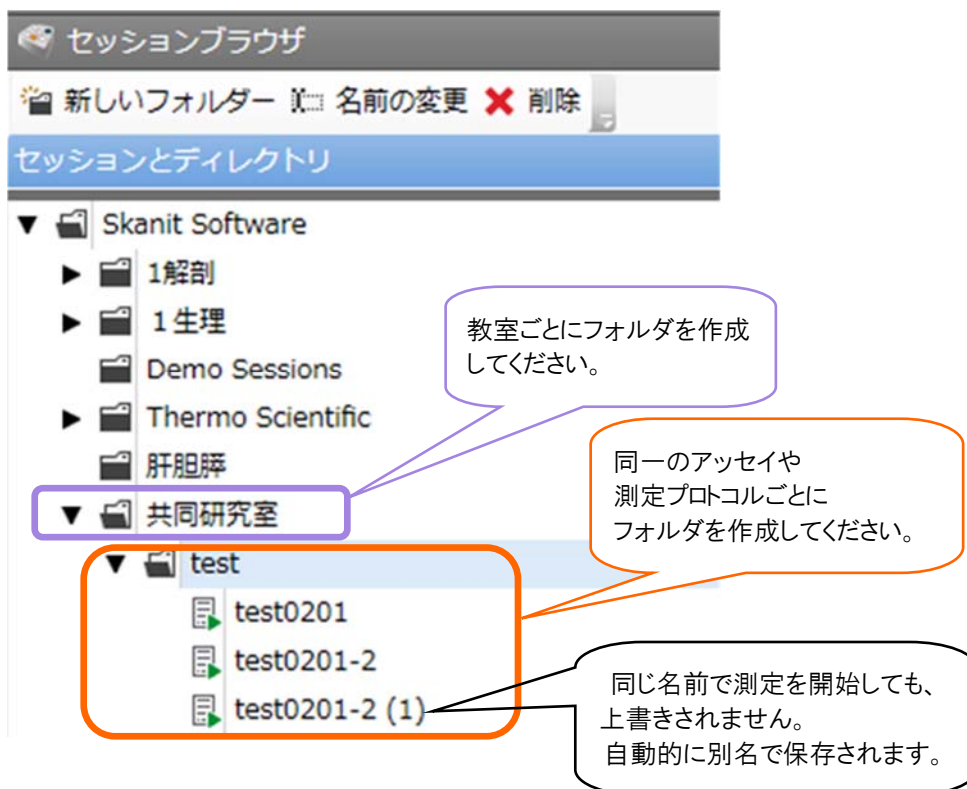
測定にはセッションというファイルを作成する必要があります。

セッションには 測定プロトコル、結果、解析方法および解析結果が含まれています。  
測定後のセッションを使って測定することが出来、新たなセッションとして保存されます。  
(セッションのファイルがどんどん増えていきます)

一度測定したセッションの「測定プロトコル」および「プレート種」の変更はできません。  
(プレートレイアウト、解析設定 は変更できます)

セッションの保存場所は必ずデータベース内となっており、任意の場所に保存することはできません。

<ファイル保存先のフォルダ構造>



※ セッション名は英数字で作成してください。

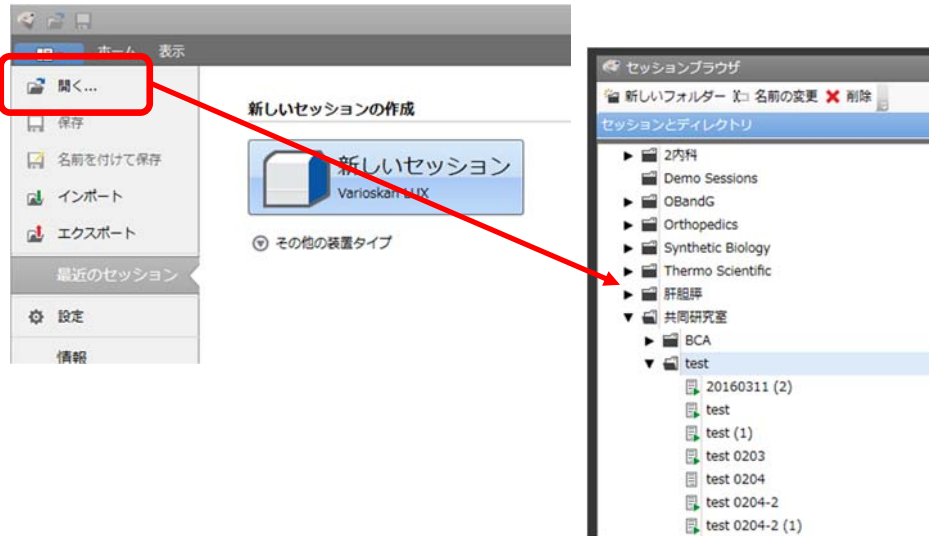
## プレートアダプタについて

使用する「プレート種」、「蓋のあるなし」により、装置本体のプレートアダプタを変更する必要があります。  
プレートを装置に入れる際には プレートアダプタが 適合しているか 必ず確認してください。

## <同じ測定プロトコルで測定する>

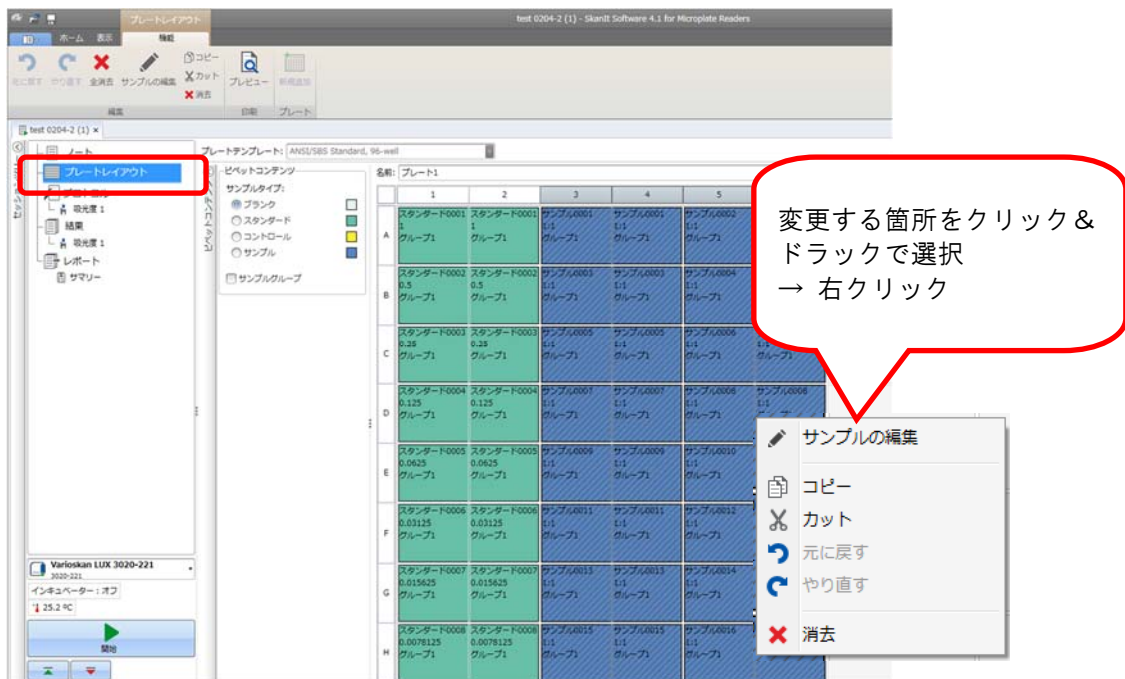
- ① 以前に測定したセッションを呼び出す
- ② プレートレイアウトを変更する
- ③ 測定開始
- ④ 測定結果のエクスポート

### ① 測定済みセッションを開く



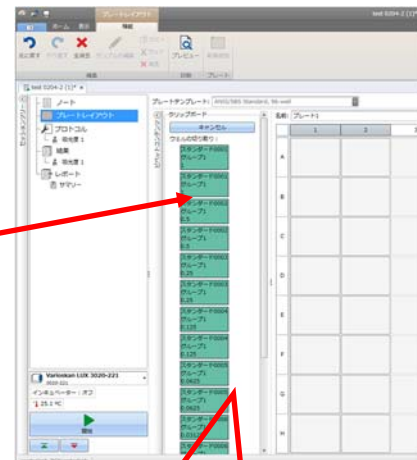
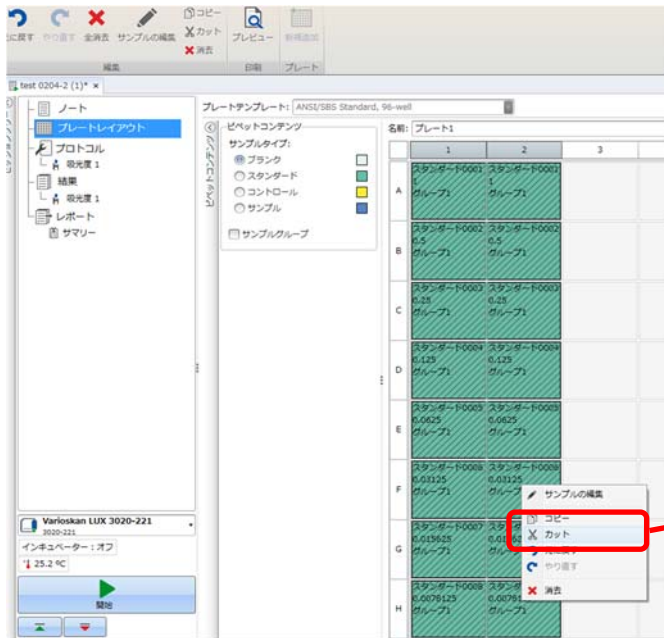
### ② プレートレイアウトを変更する

セッションツリーの プレートレイアウトを表示

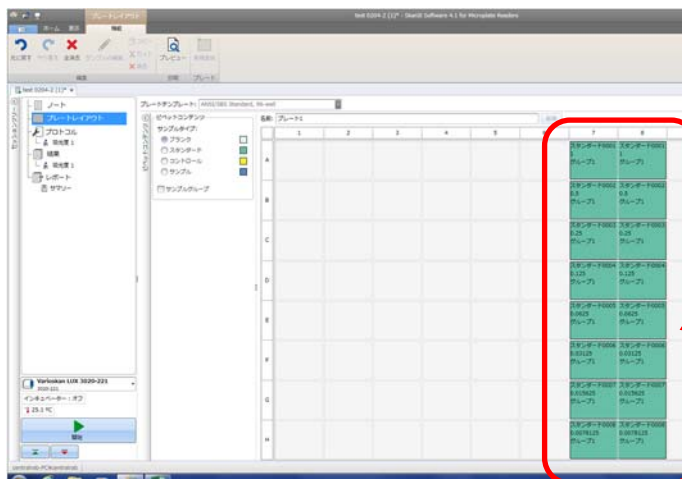


※ レイアウト変更後に 保存ボタンを押すと、測定済みセッションのレイアウト設定が上書きされてしまいます。

## レイアウト設定の移動 (カット&ペースト)

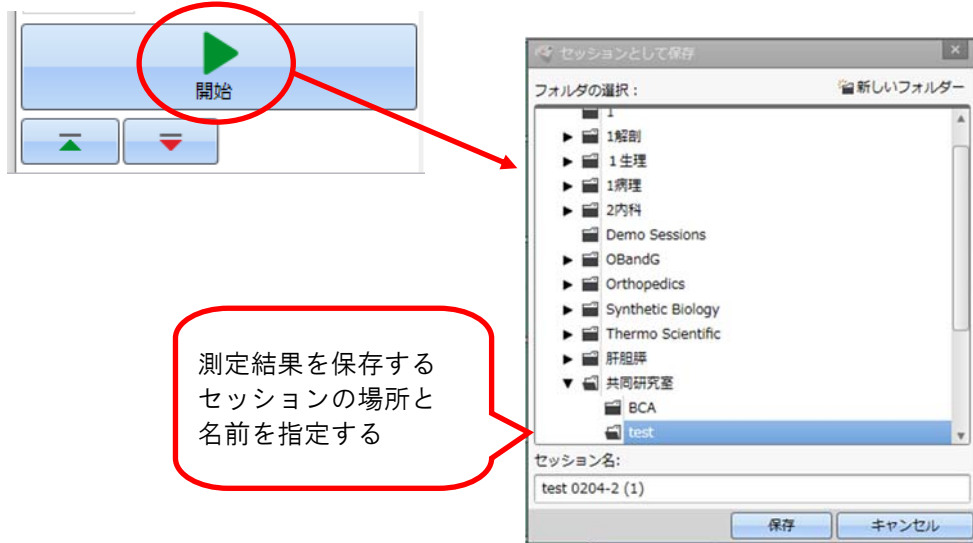


カットした設定内容が  
クリップボードに移る



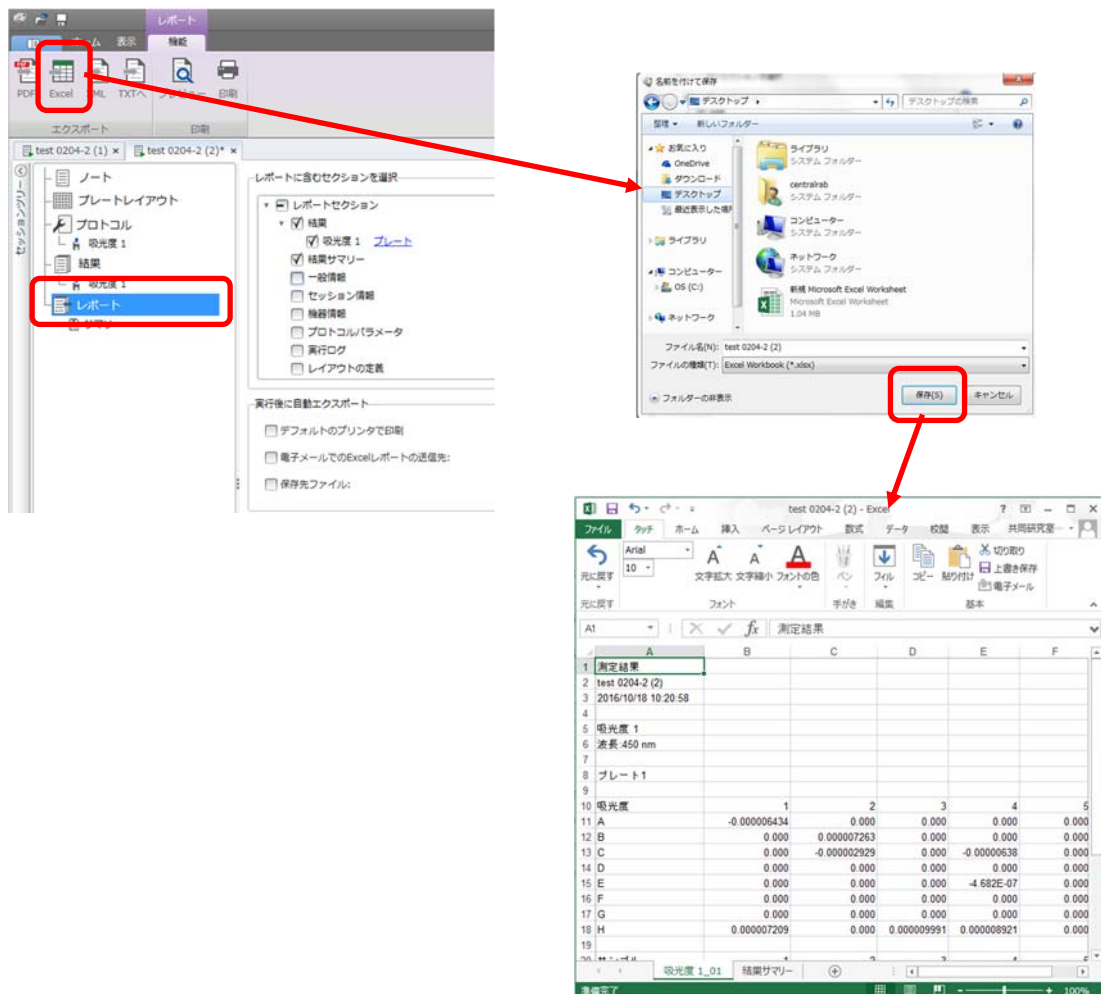
wellを選択  
(クリック&ドラック)  
するとクリップボードの  
内容がペーストされる

### ③ 測定を開始する



### ④ 結果をエクスポートする

セッションツリーのレポートを表示



プロトコルを変更したい場合・・・

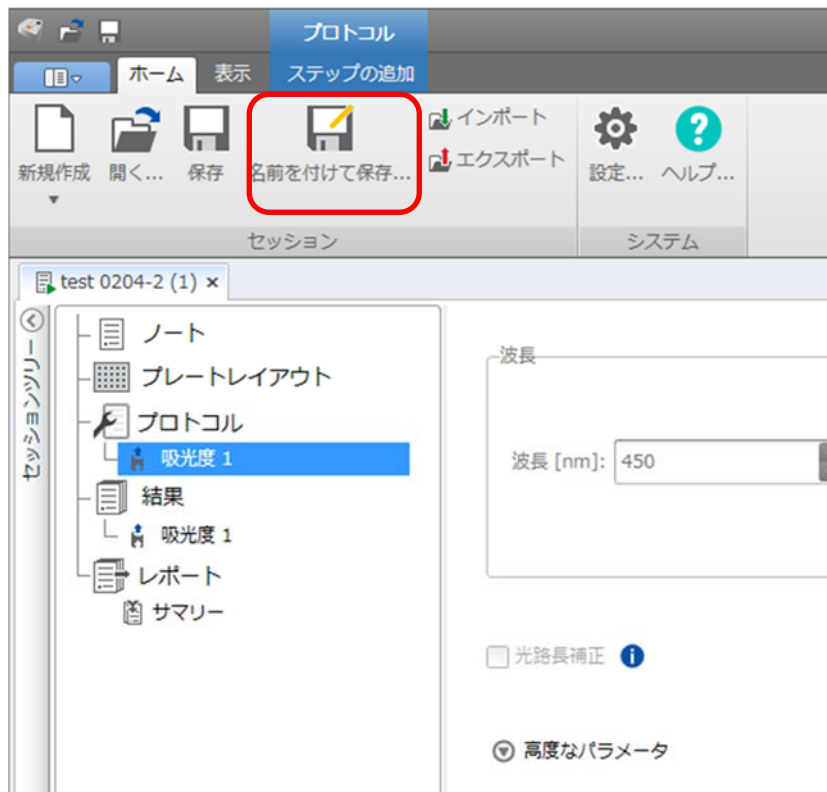
測定済みセッションは、下記の設定項目の変更ができません。

測定プロトコル（変更・追加）

プレートタイプ（96well → 24well など）

「名前を付けて保存」をすると、全ての項目を変更することができます。

ホームタブ → 名前を付けて保存



## <新規セッションの作成>

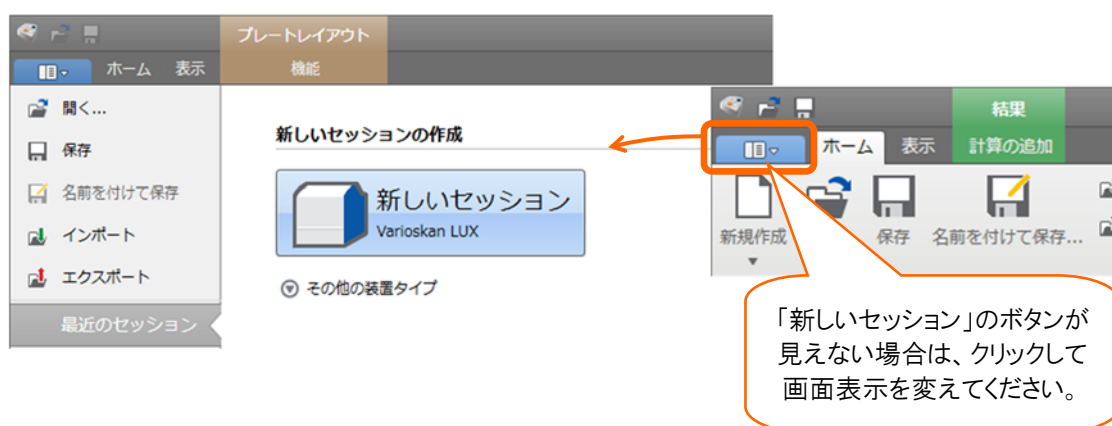
(新規プロトコルの作成と測定)

同じプロトコルで何度も測定を行う場合・・・

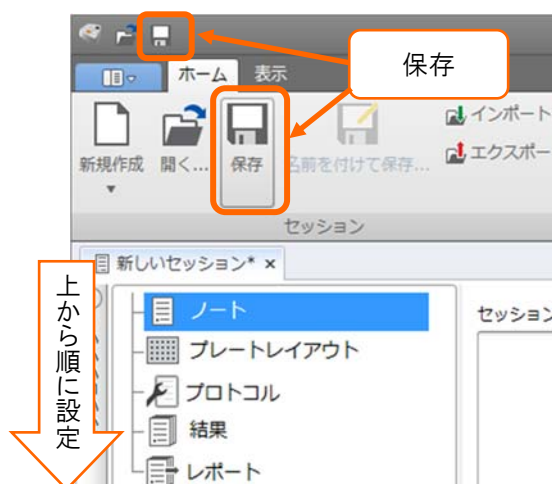
最初に「新しいセッション」でプロトコルを作成します。

次回からは、測定済みセッションを開き、プレートレイアウトを変更して測定すると便利です。

### ① 新しいセッション を クリック



### ② プロトコルなどを設定し、保存する



プレートレイアウト	プレート種の指定と サンプルレイアウトの指定	測定にレイアウトは必須ではありません。レイアウト指定が無い場合、全てのwellを読み取ります。
プロトコル	測定方法の指定(必須)	
結果	計算方法の指定 測定・計算結果の表示	測定後に設定、変更が可能です。
レポート	結果のエクセルへのエクスポート	